

第12回 グループホームこころ尾道駅前 運営推進会議（議事録）

2016年7月11日（月） 13:30～

1. 理事長挨拶

いつもありがとうございます。商店街の火事があり、こころに対して心配の声が聞かれました。ちょうど往診の途中で火事に遭遇し、すぐに消火されると思っていたら、かなりの被害でお見舞い申し上げます。こころの建物は火災に関しては、耐火構造であるし、スプリンクラーでの消火ができるシステムになっています。

また、七夕やあじさい等、地域の中で色々な行事に参加させてもらい、ご利用者様も喜ばれたと聞いています。今後も地域の中での行事に参加させて頂きながら、地域の中での事業所として、今後とも地域と共に過ごしていきたいと思っております。

地域代表より→火事の話（商店街より）消防車が近くまで入れないので、消火がうまくいかず、燃え広がったようです。海岸からの消火が遅れたこともあり、初期消火が遅れた。商店街側が燃えていると情報があり、海岸までの情報がうまくいかなかった。地域住民と商店街の連携が必要だと感じました。今後の整備については撤去にもお金がかかります。住吉花火までに、何とか安全に通行できるようにしたいと、住民は弁護士をたて少しずつ取り組みが始まっています。

2. 運営推進会議構成員各位の自己紹介

ご家族代表	1名
地域住民代表	2名（内1名ご家族代表兼）
有識者	1名（ご家族代表兼）
尾道市高齢福祉課職員	欠席
尾道市地域包括支援センター職員	欠席
その他（理事長、理事、管理者、職員）	5名

3. 利用者・サービス状況等の報告

■利用者の状況 H28年7月11日現在 9名（男性2名 女性7名）  
前回報告時より変更なし

① サービス利用者年齢層（歳）

70以上75未満	1名	85以上90未満	3名
75以上80未満	0名	90以上95未満	3名
80以上85未満	1名	95以上100未満	1名

② 介護度別利用状況

要支援2	0名	要介護3	2名
要介護1	0名	要介護4	4名
要介護2	0名	要介護5	3名

③ 介護保険更新者（1名）

H28年7月1日～（要介護5→要介護5）

7月1日より、更新の方が1名、以前の介護度と同様で要介護5と変更なく、前回伝達の要介護度別利用状況の人数変更はありません。

■事故報告

5月 6月 2件

■サービス実施状況報告等

（ご利用者の生活の様子、行事等について 3月中旬～5月上旬まで）

○利用者の生活の様子等

5月は胃腸炎に利用者の羅漢者があり、利用者の方の体調不良が目立ちました。食事も普段より

食欲がなく、その都度その方の体調や状態にあった雑炊やたまご豆腐など、消化のよい食べやすいものを提供し対応を行いました。

高齢者の方は体調を崩してしまうと、全体の状態が低下してしまう事が多い為、主治医の先生への伝達や相談も細目に行い、できるだけ体調不良が長引かないよう配慮し対応を行いました。

今後は、気温も高くなり熱中症や脱水症状などおこらないよう、普段よりも配慮し水分摂取を小まめに行いながら体調管理に努めながら、普段と変わらない生活が行えるよう対応を行いたいと思っています。

#### ○行事・余暇活動について

##### 【室内】

- またまた、おめでとうございます(^o^) 『お誕生会』 (5月10日・6月6日)  
恒例の誕生会ですが、この度は(前回運営推進会議後)5月に1名、6月に1名の誕生会となりました。手作りのケーキを皆で作し、誕生者の方を囲んでお祝いをする事が出来ました。誕生者の方が、周りの利用者の方一人一人からお祝いの言葉を聞かれ「ありがとうございました」と涙され、とても感動的な誕生会を行う事が出来ました。12月まで次の方のお誕生日会まで、しばしお誕生日会はお休みとなりますが、12月より再びみんなで心のこもったお祝いが出来ればと思っています。
- 感謝を込めて♥『父の日』 (6月19日)  
ささやかではありますが、スタッフ手作りの花束と父の日カードをプレゼントさせて頂きました。「今日は父の日です。いつもありがとうございます」とスタッフより手渡すと、少し照れたご様子で喜んで下さり、「ありがとうございます」と手を合わせてお礼を言って下さいました。少しの時間ではありますが、その一瞬一瞬の時間を大切にしていこうと思っています。
- ご賞味あれ(^\_^)『おやつ作り』 (6月28日)  
久しぶりのフレンチトースト作り！卵を割ったり混ぜたり、パンを浸したり、焼いたり利用者の方がそれぞれの役割で頑張り手伝って下さいました。美味しいフレンチトーストが出来上がり皆で美味しく頂きました。

##### 【室外】

- 夏の風物詩『土曜夜店』 (6月18日より)  
夏恒例の、尾道本通り土曜夜店が始まりました。18日より毎週土曜日に、スタッフと一緒におひとりずつ商店街に出かけております。左右に沢山並んだ屋台に目を向けられたり、沢山の人混みの中の小さな子供に手を振られたりと、利用者の方それぞれに夏の風物を味わっておられます。
- 笹の葉さ～らさら♪『七夕飾りつけ』 (6月24日)  
毎年、本通り商店街に並ぶにぎやかな七夕の大きな竹への飾りつけに参加しました。飾りつけの日までに、利用者の方がそれぞれの願いごとを短冊に利用者の方自身で書かれました。また、色とりどりの可愛いかざりを折り紙などで貼りつけ、利用者の方とスタッフでの力作が出来上がりました。飾りつけ当日には数名の利用者の方が商店街に出て、笹の一つずつ丁寧に飾りつけを行いました。  
地域の方と行える行事は、スタッフはもちろん利用者の方にとってもとても良い時間になっています。
- 今年も行ってみました『あじさい忌』 (6月26日)  
今年も3名の利用者の方と一緒に芙美子像前でのあじさい忌のお出かけしました。沢山の人に最初は緊張気味でしたが、歌や演奏が始まると、手を叩いたり、知っている歌を大きな声で唄われたりと、とても楽しまれていました。紫陽花を関係者の方から頂くと「わー大きい。綺麗ね。」と言われていました。去年に引き続き、主催関係者の方々が記念撮影を一緒にして頂き良い記念となり、ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願い致します。

## 5. 意見交換

ご家族：いつも感謝とお礼しかありません。地震や津波や火事があっても、この事業所にいれば安心できます。いつも良いスタッフに見守られて、安心してお願いできています。本人も、笑顔で和やかに過ごせています。親戚にも様子を伝えると、そんな施設なかなか入れないよというらやましがられています。

私も、スタッフさんに任せきりにせず、面会にもできる限り行って、一緒に自分も関わりに(介護)

参加して過ごしていきたいと思っています。

地域代表：花火終了後、七夕の撤去をします。また地域での片付け参加をお願いします（8月1日8時から）。7月30日住吉花火大会の日 15:30~16:00 頃神輿が本通りを通る予定。9月24日（前夜祭）25日仮装パレードがあります。例年通りのルートではない可能性があるのですが、後日また回覧がまわります。利用者の方もまた是非見て頂ければと思います。

有識者：利用者の方が体調不良になり、ここでの検査または他病院でのさらに検査等の相談を受けました。認知症を持った高齢の方が、今慣れた環境や周りの人達に囲まれた上で生活がなりたっており、病院に行くことを考えるとはたしてどうなのかと迷います。後見人としては、ここがつかのすみか、ここで見てもらえるようこの度は主治医の先生とも相談をしました。

この度は、検査をするのではなく、痛みをとる事を優先で考えました。それぞれの考え方がありますが、その方の今までの経緯や認知症の状態などをふまえて考えなければいけないのですが、この度の場合は、病院に行くよりもここをついのすみかとなると、病院への入院も一つの方法ではあるが、今周りに慣れたスタッフさんや利用者の方に囲まれての生活をするのも選択肢の一つではないでしょうか。

ここはクリニックが併設であるので、ケガなど以外であればよそに行かずにここでの出来る範囲の医療で行ってもらえるようお願いしたい気持ちがあります。どこまでお願いできるのかはわからないが、ここで看とるお願いをしたいし、その心構えをしていきたい。スタッフさんもどのように受け入れるかも考えないといけないが、グループホームで入居されている方については、できる事出来ない事の医療をお互い確認してあとは自然の経過に任せてする事がよいのではと思います。

→理事長：もちろんできる事はさせて頂く思いでいます。反面できない事はできない。生きる力がある方は生きる、自然の経過で受け入れていく事が大切ではないかと思えます。家族の気持ちもその時その時で変わってきますので、その都度意向の確認、方向性を考えていく対応が必要と思えます。

→有識者：本人の意思、認知になって言えない時、食べ物が食べられなくなった時、老衰という形がよいのかと思えます。その中で病院では胃瘻になるが、介護施設では自然の形でできるのではないかと思えます。

家族：スタッフさんは今でも大変なので、もしそのような状況が発生してしまうと今よりももっと大変になるのではないかと心配です。母親も元気な時から加護な医療などは望んでおらず、私もそう思っており、できればこちらさんで見て頂ければと思っています。そうなった時には、私も出来るだけ事業所にきて食事や色々な事をお手伝いできればと思っています。

→管理者：スタッフもまだまだ看取りに関しては勉強不足の事もあります。これからスキルアップをめざし取り組んでいきたいと思っています。事業所としては、家族と一緒に看取りを行い、ご本人ご家族スタッフと共に同じ時間を過ごし関わり看取りが行えるよう考えています。ご家族にもその都度相談を行いながら対応していきたいです。

→理事長：家族との看取りを考えると、事業所に家族もきて最後の時間を共に過ごす事が大切。スタッフだけが行うのではなく、家族共に看取りケアを行う事で、一緒にできる事が家族にとっても良いお見送りができたと思えるのではないのでしょうか。

理事：先日より、土曜夜店に作業所で風船釣りを出しています。作業所を利用の人たちも、地域の行事に自分たちも出かけるという役割ができています。また、認知症カフェの開催で、家族参加があり先輩の介護者さんが初心者介護者さんにアドバイスをするなど、職員が話をするよりも介護者さんどうしでよい関係や関わりの場ができています。現在は、こちら利用中のご家族などこの関係者が多いので、そのほか認知症に関わっている方がいればぜひ声を掛けてあげてください。受診は敷居が高いと思われるかもしれないので、気軽においで頂ける場であるようにと思っています。

## 6. 次回運営推進会議日程

定期予定日 第2月曜日

平成28年 9月12日（月） 時間：13時30分より予定しています。

ご参加よろしくお願い致します。